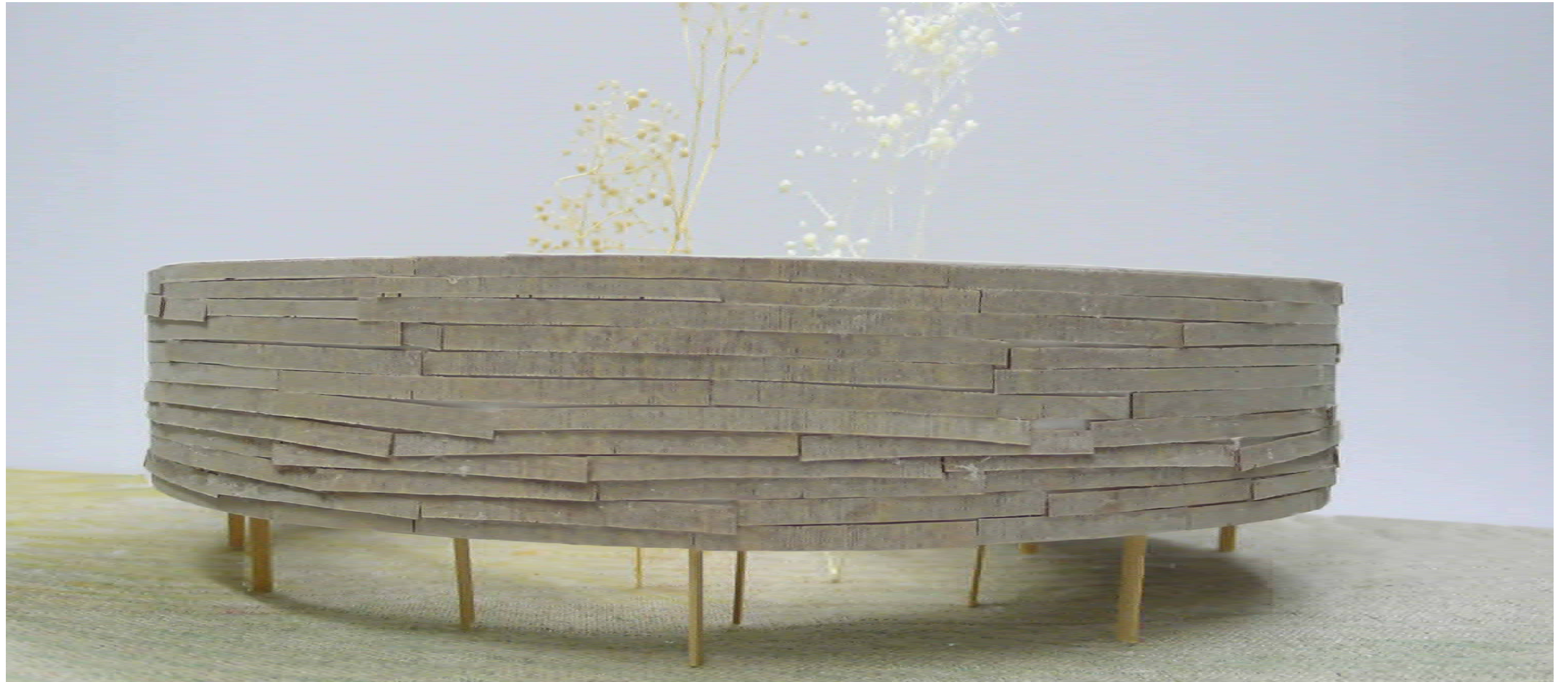


山の中のギャラリー





山の中のギャラリー

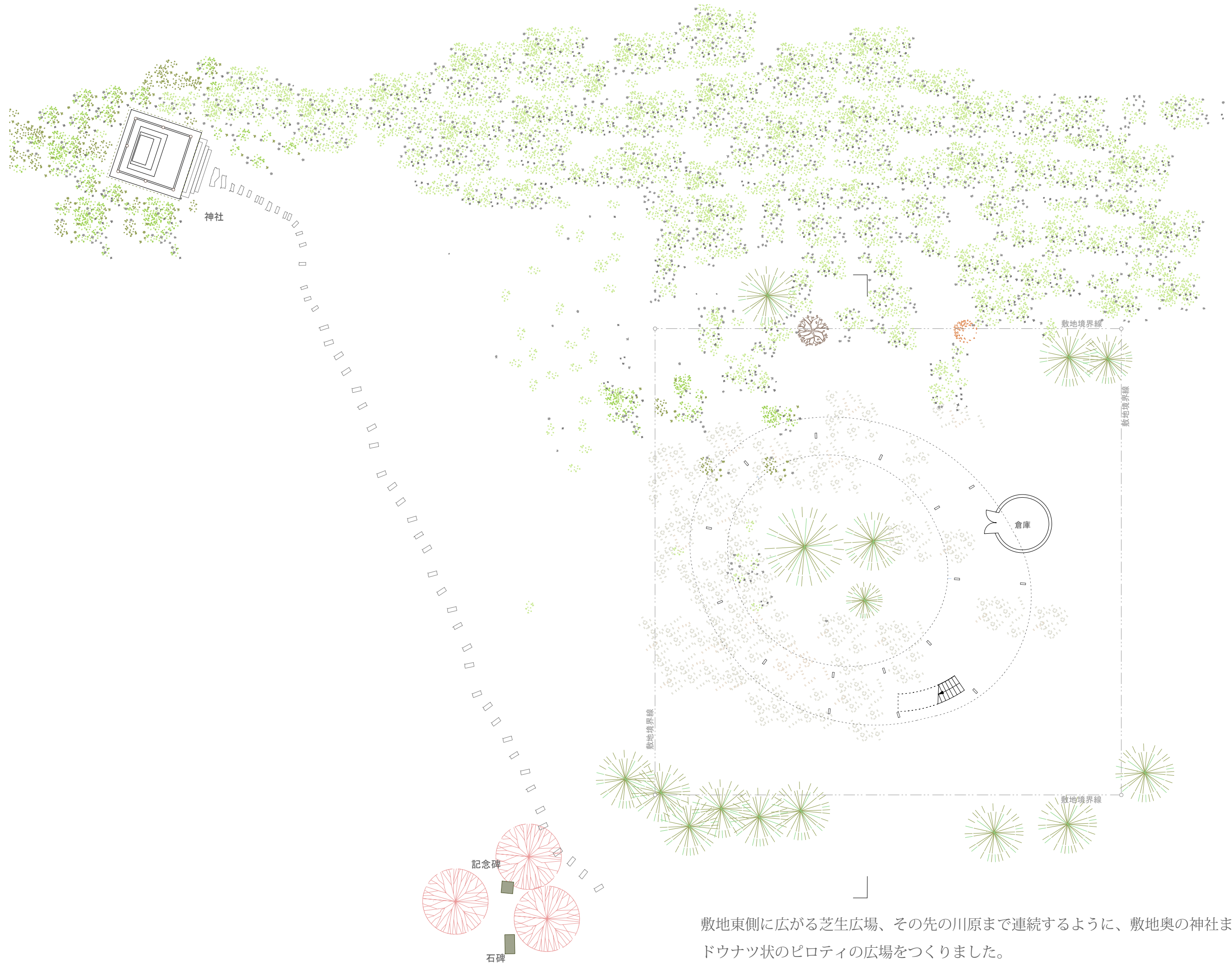
登山者が入山する前に神社でお祈りするとき、身の安全と自然を愛しむことを喚起する。そんな木々の中に凜と佇むようなギャラリーをつくりました。

このギャラリーは地上には建物の柱と2階への階段しかありません。そして2階に展示室と南アルプスの自然を知ることができるスペース、登山について相談できる場所があります。

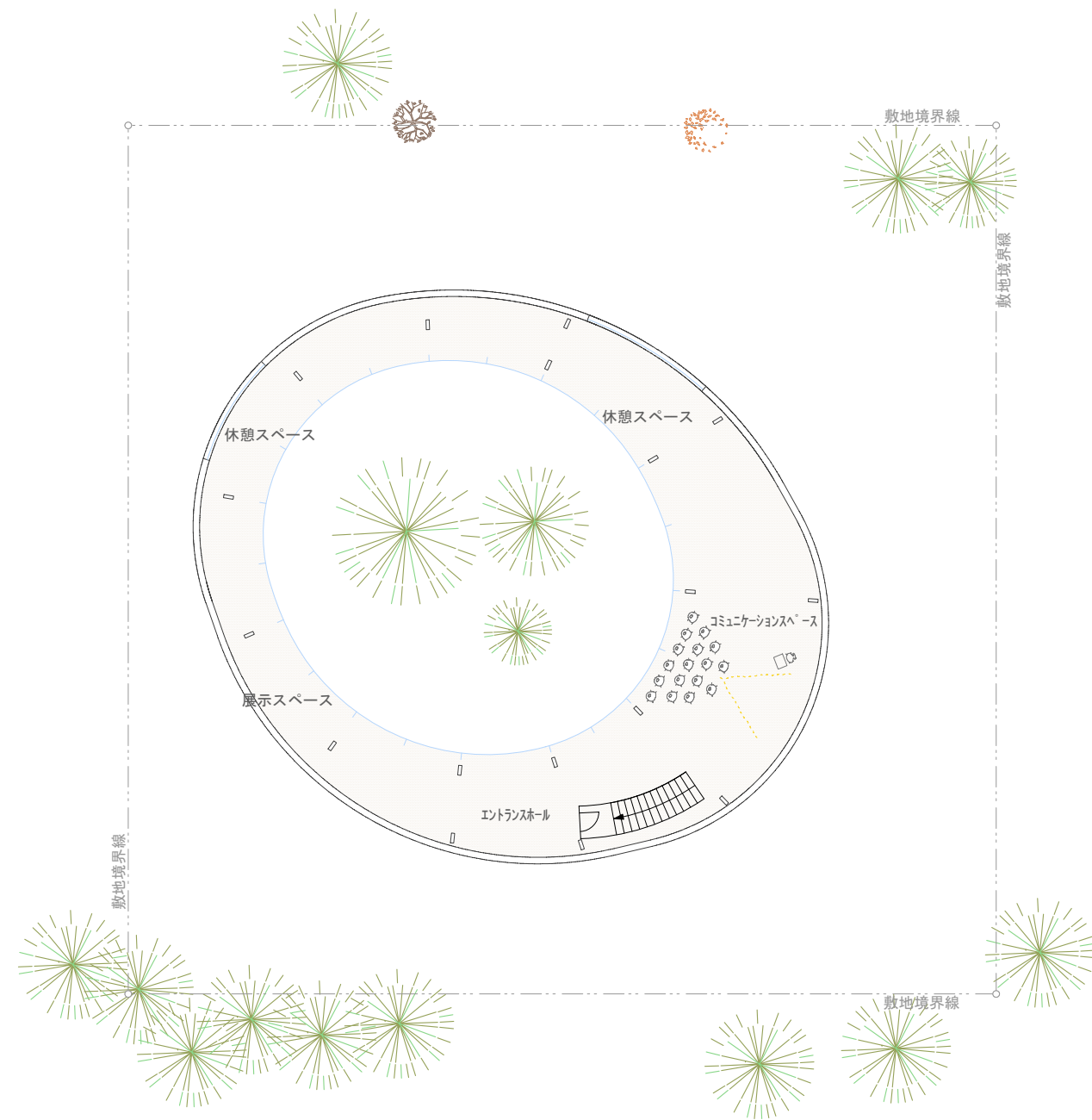
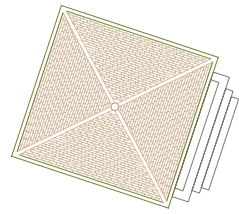


このギャラリーは山岳写真と南アルプスの自然、登山についての建物です。それぞれが独立して置かれるよりもそれらが一緒に展示され、さらに休憩スペースには大きな窓を設け、ギャラリーから望められる南アルプスの風景そのものもいっしょに展示できるようにしています。

この場所だからつくることができるギャラリーになっています。



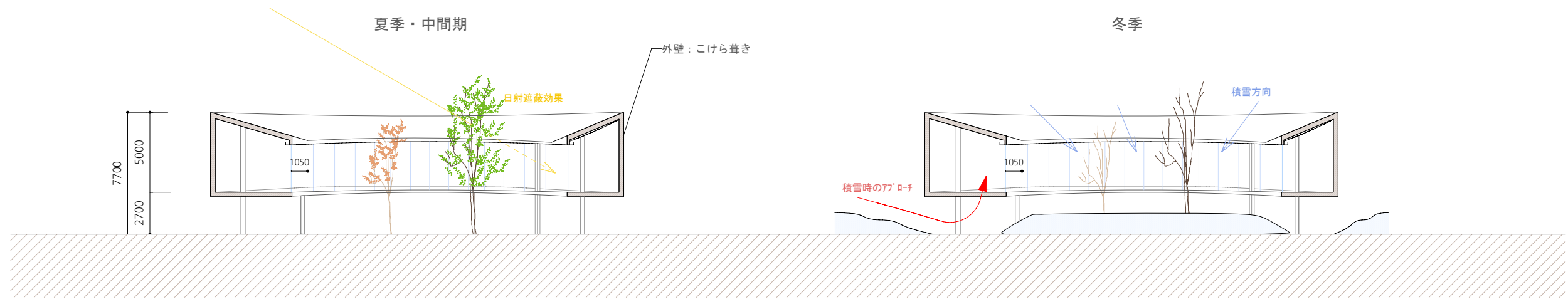
敷地東側に広がる芝生広場、その先の川原まで連続するように、敷地奥の神社まで見通せるようにドーナツ状のピロティの広場をつくりました。



2階はリング状のワンルームになっています。北側のスペースは柱が部屋の中央にあるため、気象の部屋、植物の部屋、といったようにいくつかの部屋があるように感じられます。そして映像も見ることができるコミュニケーションスペースまで一筆書きに行くことができます。

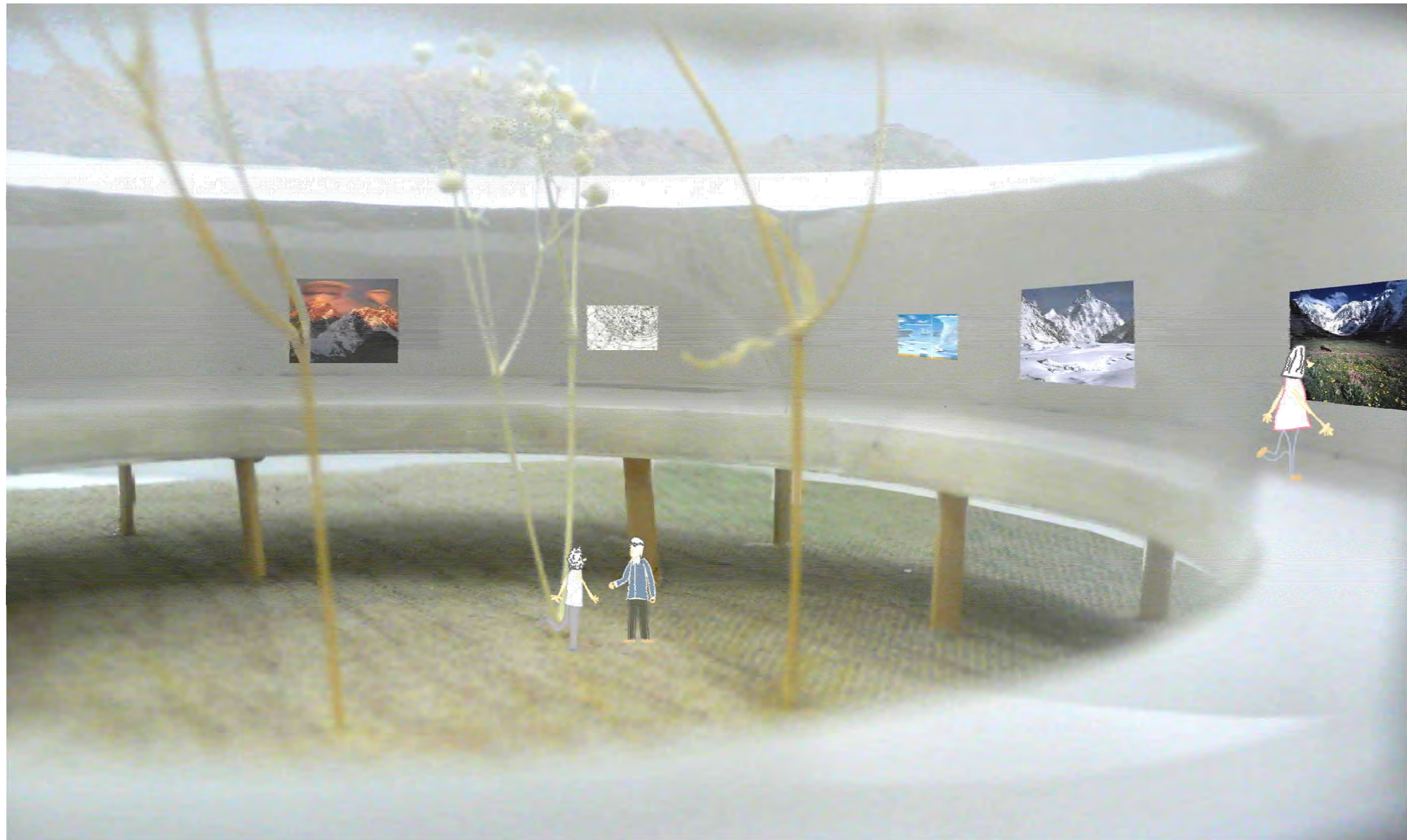


ギャラリーに囲まれるように1本の落葉樹と2本の常緑樹を新しく周りのランドスケープと連続するように植樹しました。
この3本の木によって地上には気持ちの良い語り場ができ、2階のギャラリーには庇と共に日射を遮蔽し開放的であり快適な室内が出来上がります。
山の中で出来る限り自然と共生する建物を考えました。



冬の積雪時にはこの中庭に雪が落ちるように勾配屋根を設け、さらにピロティの高さがあるため積雪時にも建物内部に入りやすくなっています。

この中庭がつくる環境は利用者の良好な環境をつくるだけでなく、山の野鳥や昆虫の新しい棲家にもなるかもしれません。



展示を見た後にふと後ろを振り返ると、見てきた展示、中庭で話している人、空、その奥にある木々、山々が一同に見ることができます。展示すべてを見終わったとき、すべての展示をもう一度少しはなれた場所から眺めながら余韻を楽しむことができます。



山の中のギャラリー